ガバナー月信

2013-2014年度　RIテーマ

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

Engage Rotary, Change Lives

Governor's Monthly Letter

2014.4
第10号

4月は雑誌月間

ガバナーあいさつ ……2
雑誌月間によせて ……3
青少年交換　スキーツアー／広島・京都ツアー報告……4
戸田西RC40周年 ……6
補助金管理セミナー報告 ……7
国際奉仕プロジェクト検証ツアー報告 ……8
UNIQUEASE訪問報告 ……9
会長エレクト研修セミナー報告 …… 10
米山記念奨学生終了式 …… 11
クラブ事業／越谷RC …… 12
グローバル補助金奨学生／青少年交換派遣学生報告… 14
ガバナー・ノミニー（デジグネート）指名 …… 17
IM報告 …… 18
寄付者等報告／文庫通信 …… 22
会員数及び出席率 …… 24

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063　埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116エイペックスタワー東館1階
TEL：048-827-0022　FAX：048-827-0011　E-mail：ri2770@ri2770.com

雑誌月間

2013−14年度ガバナー　渡邊 和良

ロータリアンには三大義務があります。会費の納入、例会出席、そしてロータリー雑誌の購読です。

４月は雑誌月間です。この月間の目的は、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることにあります。

世界各国には、30の地域雑誌と機関雑誌、合わせて31のロータリー雑誌があります。

ロータリアンは地域雑誌（日本の場合はロータリーの友）、又は「The Rotarian」のいずれかを選択して購読することになっています。

ロータリーの友は、1953年１月創刊。ロータリーの地域雑誌として承認されたのは、1980年７月号です。

2013年の規定審議会の採択によって、今後、ロータリアンは、「ロータリーの友」を、印刷版だけでなく、電子版で受け取ることができるようになりました。

ロータリーの友の利用方法は、大きく分けて３つあると思います。

① ロータリーの友を読む。
② ロータリーの友に投稿する。
③ ロータリーの友の記事を利用する。

私がロータリーの友をどう利用しているかについての経験をご紹介したいと思います。

６－７年前になりますが、私が前立腺肥大症である病院に定期的に通院していた時のことです。

以前、ロータリーの友に、「前立腺がんは怖くない」という投稿記事があったのを思い出しました。

家に保管してある古いロータリーの友の記事を探しましたが、見つかりません。ロータリーの友事務所に電話し、探して頂きました。そして程なくその記事を書いた方は、順天堂大学名誉教授の北川龍一先生、東京の本郷ロータリークラブの会員であることがわかりました。

早速、本郷ロータリークラブの事務局に電話し、例会にメーキャップし、北川先生にお会いして話を伺ってみたい旨伝えましたところ、事務局員から、北川先生が勤務されているホテルニューオータニ内の東都クリニックを訪問するよう紹介を受けました。

東都クリニックに電話を入れ、北川先生に、診察していただく機会を得ました。ご挨拶のあと、北川先生に、私が浦和北ロータリークラブのメンバーであること。ロータリーの友を読んで、北川先生にセカンドオピニオンをいただきたい旨を伝えました。

東都クリニックは、完全予約制で、待ち時間無し。時間どおりに診察室に通され、北川先生から問診を受け、超音波での診察や触診など１時間以上にわたって詳しく診察して頂きました。実は、私がお世話になっている大学病院では、予約して伺うにもかかわらず、１～２時間待ち、診察時間は１、２分が当たり前で、異常はありませんかと聞かれ、ありませんと答えると、前回と同じ薬の処方箋を頂き、薬を受け取って帰ってくるという簡単なものでした。

しばらくして、大学病院での定期診察時、北川先生に診察していただき、セカンドオピニオンをいただいたことを申し上げましたところ、北川先生は泌尿器科部門では、非常に有名な雲の上の存在の方で、なかなか近寄りがたい大先生であるとのことでした。そして、丁寧に診察してくださったのは貴方がロータリアンとしての友達だからだという説明を受けました。

その後、ずっと東都クリニックにもお世話になっていますが、２回ほど続けて受診して頂いたあとは、先生がご高齢ということもあって、若くて優秀な先生を紹介され、現在は後任の先生にお世話になっています。毎回、待ち時間ゼロ、丁寧な診察で満足しています。

いかがですか？　「ロータリーの友」は、私にとってロータリアン同士の絆を確認するきっかけを与えてくれました。皆様も投稿記事を読むだけではなく、私も同感だとか、私はこう思うとか、コンタクトしてみるのも、楽しい利用の方法ではないでしょうか。

雑誌月間に寄せて

ロータリーの友地区代表委員　中里 公造（川口モーニングRC）

今月は「ロータリーの雑誌月間」です。ＲＩの機関誌「The Rotarian」の他「ロータリーの友」を含め世界で30の地域雑誌が「ロータリー地域雑誌」と認定されています。

世界中のロータリアンにとっての情報源である、地域雑誌の重要性を認識するための特別月間であると同時に、クラブはこの雑誌月間中に、地域雑誌に関するプログラムを実施しなければならないとされています。

今月のプログラムは各クラブ既に決定していますが、地域雑誌（ロータリーの友）に関するプログラムを予定していないクラブは、ぜひ一考のほどよろしくお願い致します。

ロータリーの情報を得る手段は、多岐に亘っています。ネット社会ということもあり様々な情報源が存在します。しかし、多くのロータリアンにとって主たる情報源はやはり印刷物であると思います。ロータリアンの情報誌として「ロータリーの友」ほどの情報源は無いと思います。

毎月安価な価格で会員に配布され、横組みには、RIから掲載を義務付けられている「RI指定記事」としてのRI会長のメッセージを始めとして、特別月間の特集記事やロータリー財団を含めRIの様々な情報や、ポリオ撲滅に関する記事、また、月間テーマに沿った、日本を含め世界のロータリークラブの活動状況等、様々な最新（編集によるタイム差は別）のロータリー情報がタイムリーに掲載されています。

また縦組みでは、全国のロータリアンの投稿記事を中心に構成されていますが、地域性を活かした特色のある奉仕活動や、ロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識など参考になる記事が満載です。

「ロータリーの友」は、ロータリアンのための情報誌です。その情報が一冊（210円）に集約されていると言っても過言ではありません。しかし、各クラブを訪問した際の印象では、「ロータリーの友」をしっかり読んでいるという会員の比率は残念ながらかなり低いと言わざるを得ません。何故でしょうか？

2010年の規定審議会の採択によって、アメリカとカナダのロータリアンは、これまでの印刷版だけではなく、電子版で『The Rotarian』を受け取ることができるようになっていましたが、2013年の規定審議会では、全ての国の会員は印刷媒体と電子媒体のいずれかを選択して購読することができるようになりました。それを受けて、ロータリーの友委員会ならびに一般社団法人ロータリーの友事務所では、2014年1月号から電子版の「ロータリーの友」を発行することになりました。ご覧になった方も多いのではないでしょうか。ちなみに、ID及びパスワードは、いずれも『rotary』です。まだの方はぜひ一度ご覧下さい。

今年度も残り少なくなりましたが、「ロータリーの友」への投稿をよろしくお願い致します。

青少年交換　スキーツアー報告

青少年交換委員会　大塚 崇行（上尾 RC）

青少年交換プログラムの来日学生にとってビッグイベントであるスキー旅行が２月14日から３日間の予定で行われました。場所は長野県菅平高原スキー場。参加者は当地区の来日生12名と2570地区の来日生２名、そして青少年交換学友４名とロータリアン３名の総勢21名でのツアーとなりました。

出発時14日15日の二日間は関東地方全域が雪の予報で、さいたま新都心駅集合時より雪が降っていましたが、どうせ雪国へ行くのだからそんなに心配する事もないだろうとその時は気楽に考えておりましたが、まさか歴史的な大雪になるとは露ほども思わず、安全第一で楽しいスキーになるよう祈り、一路菅平高原へ出発いたしました。

途中雪が激しくなりましたが高速道路も順調で、予定通り宿泊先の菅平高原天狗ロッヂへ到着し、早速午後からゲレンデに繰り出しました。14名の生徒の内10名がスキー、４名がスノーボードで、初心者が８名いましたが指導者を2名頼みしまして板の付け方から指導して頂きました。初心者の中には２日目は寒くて休憩と言う生徒もいましたが、２日間の指導を受けた生徒全員が最後には一人でリフトに乗って滑れるまでに上達し、子供たちの順応力には驚かされました。また、北欧など雪国から来た生徒たちは最初から積極的に滑ることができ、終了時間を告げないといつまでも滑っている子もいる程でした。そして夕食後に楽しいイベントを青少年交換学友が企画しロータリアンも一緒に参加して親睦を深めました。

但し、２日目の夜より尋常でない降雪の情報が入り出し、明日帰れないのではないかと言う不安が過り出したのもこの頃からでした。当初の予報では最終日は朝から晴れでしたが、予報が一転、未明から午前中は暴風雪に代わり、吹き荒れた雪は１m近い積雪となりました。そして高速道路だけでなく上越新幹線も止まり、尚且つ菅平ダム近くで雪崩の情報が入り上田駅へ向かう道も寸断され、いよいよ帰る手立てが閉ざされてしまいました。本日帰れないのであれば早い段階でもう１泊する決断をしなくてはならず、ロッヂのオーナーと相談の上16日の午前中に延泊を決定し生徒を集めて告げました。そこで生徒達から起きたのは拍手と歓声でした。実はこれで気持ち的に救われました。もし不安で体調が悪くなるような子が出たら大変だなと思いましたが、そんな心配は必要なく、子供たちは思わぬおまけの１日を喜んでくれました。そして予報通り16日の午後には雪が止み、日も照りだして最後の半日新雪のスキーを楽しみました。そして翌日の17日には高速道路はまだ通行止めでしたが、上越新幹線は通常運転に戻りましたので、上田駅までロッヂのバスで送ってもらい、すし詰め状態の新幹線に何とか全員が乗り込み、午後２時半大宮駅まで帰ることが出来ました。

予定より１泊伸びて３泊４日となったスキー旅行。まずは全員が怪我や病気をすることなく帰って来られた事に安堵し、生徒たちにとっては大雪や通行止めよりもおまけの１日を過ごせたことに喜んだスキーツアーとなりました。

ご心配をお掛けしてしまったホストファミリーやホストクラブ、また渡邊ガバナーを始め関係各位には深くお詫びを申し上げご報告と致します。

青少年交換　広島・京都ツアー報告

青少年交換委員会　大塚 崇行（上尾 RC）

来日学生にとってのビックイベント第２弾。広島・京都旅行に３月７日から９日までの３日間行ってきました。今回の参加人数は来日学生が15名、青少年交換学友4名、ロータリアン４名の総勢23名でのツアーとなりました。

初日の朝は冬に逆戻りをしたような寒さの中、南浦和駅改札前の集合時間はAM６時30分。最初の関門は全員が時間通りに集合してこのツアーが無事に出発する事でありましたがその心配は全く無く、6時5分過ぎ最初に姿を見せたのはスイスのクセニア。それから続々と集まり出して集合時間前には全員の留学生が集まってくれました。スキーの時も感じていましたが、今年の来日生は時間を正確に守ってくれます。集団旅行が成功するかどうかのカギは時間を守る事ですので、先ずは安心して南浦和から京浜東北線で浜松町へ向かいモノレールに乗り換え、AM８時55分、ANA631便にて機上の人となり、定刻通り岩国錦帯橋空港へ降り立ちました。

先ず向かったのは世界遺産にも登録されている安芸の宮島、厳島神社。連絡船に乗り10分程で宮島へ渡り、昼食を済ませ、日本三景の厳島神社を散策。大鳥居をバックに最初の集合写真を撮りました。

次に広島市内へ向かい原爆ドームと広島平和記念公園を見学。ここでは前回のオリエンテーションの折紙教室で習った折鶴を各自宿題で作ってきてもらい、青少年交換学友が行きの電車と飛行機の中で千羽鶴にまとめたものをコーリーが代表で納めました。その後原爆資料館を見学。ここでの来日生の反応はまちまちでサーッと足早に見学を済ましてしまう子と、最初からじっくりと文章を読み展示物を食い入るように見る子がいました。中には泣いてしまった子もいまして、それぞれの想いで資料を見学しているようでした。そして１日目の行程を終え宿泊先の広島駅前、ホテルグランヴィア広島に到着。豪華なホテルに留学生は興奮していました。夕飯は繁華街まで路面電車に乗り広島名物お好み焼きを食べ、最後にライトアップされた原爆ドームを見て無事初日の行程を終えました。

二日目は新幹線に乗り京都へ移動。寺町京極を散策後、金閣寺を見学。その後、二寧坂、三寧坂、清水坂を経て清水寺を参拝しました。これぞ京都という風景にシャッターを切ったり、お土産屋さんを覗いたりと時間がいくらあっても足りませんでしたが、集合時間になるとちゃんとみんな集まって来てくれまして、時間通りに２日目の行程も終え、宿泊先の大津プリンスホテルに移動をしました。

２日目の夜は青少年交換学友が企画してくれたサプライズ誕生日祝い。３月８日誕生のシナイと10日誕生のジュリア、そして同じく10日誕生の私までお祝いをして頂きました。また青少年交換委員会のロータリアンにも来日生全員から感謝の言葉を頂きました。(みんなありがとう！)

最終日はバスで奈良に移動して、東大寺大仏殿と法隆寺を参拝しました。東大寺では最初大仏の大きさに圧倒されていましたが、ここで一番喜んだのは大仏様の鼻の孔と同じ大きさの柱の孔の潜り抜け。10人位挑戦しましたが周りに人だかりができるほどみんな大騒ぎで潜っていました。

そして、全ての行程を終え、時間通りに京都駅へ戻り、最後のお土産を買って15時26分発のぞみ232号に乗り込み一路東京から埼玉へと戻りました。

今回の広島・京都旅行はスキー旅行の様な大きなハプニングも無く、行程通り帰ってくる事が出来ました。それは来日学生皆が時間を守り、規律ある行動を取ってくれたからだと感じております。そしてそれを取りまとめて頂いた青少年交換学友に感謝を申し上げ、報告とさせて頂きます。

戸田西RC　40周年

戸田西ロータリークラブ　会長　　岡部 成一

戸田西ロータリークラブが創立40周年を迎えることができましたことを、会員を代表しましてご挨拶申し上げます。

２月14日の記念式典・祝賀会に際しまして、ご多忙中のところ、また大雪の中、戸田市長神保国男様、国際ロータリー第2770地区ガバナー渡邊和良様、韓国安山廣徳ＲＣ会長金容哲様をはじめ、大勢のご来賓と地区内外ロータリアンのご臨席を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

1974年２月14日、31名のチャーターメンバーにより設立総会が開かれ、当クラブが誕生しました。現在チャーターメンバーの方が４名在籍されており、我々後進へご指導いただいております。

当クラブの代表的な長期奉仕活動は、新世代奉仕部門においてインターアクトクラブを1981年に南稜高校へ提唱し、今年で33年目に入りました。また、社会奉仕部門では、毎年約400名の選手が集うソフトバレーボール大会が、昨年秋に17回目を迎えました。先輩方が築いてこられた奉仕活動の歩みは一言では言い表せませんが、あらためて敬意を表すと共に、この間ご支援ご協力を頂いた関係団体各位に感謝申し上げます。国際奉仕部門においても、記念式典に来日いただきました韓国姉妹クラブの安山廣徳ＲＣと合同で、2010年からフィリピンへ医療設備や消防設備などの寄贈を行っています。

今年度の奉仕活動は前述に加え、日韓親善会議参加のための訪韓を昨年10月に、また、２月２日にスポーツ吹矢大会の開催を終え、４月に第７回グラウンド・ゴルフ大会の開催を予定しています。

40周年記念事業としまして、１月23日に東北復興支援とフィリピン台風復興支援のチャリティーゴルフコンペを開催し、地区内より大勢のご参加をいただきました。誠にありがとうございました。また、４月に開館予定の戸田市新曽南多世代交流館「さくらパル」へロータリー記念塔を寄贈し、２月13日に除幕式を行いました。記念式典におきましては、ロータリー財団・米山記念奨学会へ金一封を寄贈しました。

今後も会員一同、クラブ奉仕・職業奉仕はもとより、時代にあった意義のある社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕活動の継承と創造に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

結びに当たり、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ロータリー財団

2014-2015年度地区「補助金管理セミナー」開催される!!

次年度ロータリー財団部門委員長　小林　操（越谷北RC）

２月27日（木）に越谷コミニュティーセンターポルティコホールで、2014-2015年度地区ロータリー財団補助金管理セミナーが開かれました。このセミナーは、ロータリー財団から補助金を受けるためには必ず出席しなければならない大事な勉強会です。

ロータリアンが寄付した資金は、３年後、地区財団活動資金(DDF)として還元される仕組み、シェアシステムは、寄付金の半分が地区財団活動資金として戻り、一定のルールのもと地区の裁量で財団補助金の予算が決められます。

多くの年次基金寄付、恒久基金を集めれば、多くの補助金を得ることができ、多くのロータリアンにロータリー財団を理解して頂くことが、取りも直さず大きな補助金を得て大きなプロジェクトが組めることになります。

一つのロータリークラブでは、予算に限りがあります。有意義な人道的プロジェクトを組むために、ロータリー財団の補助金を学び、役立てて頂ければロータリーの使命にも叶うものです。

セミナーでは、ガバナーエレクトの挨拶、地区ロータリー財団委員長による補助金の仕組の説明、次年度ロータリー財団部門委員長により次年度財団補助金の具体的な金額が示され、次年度地区補助金運営委員長から地区補助金の申請方法、注意点等の話がありました。

休憩後、補助金委員長によるグローバル補助金によるプロジェクトの具体例がプロジェクターを使い説明され、ロータリーが世界に貢献していることを目で感じることが出来たことでしょう。

社会奉仕部門、国際奉仕部門の各委員長から、具体的なプロジェクトの紹介で、小さなクラブでも、大きなプロジェクトを組むことが出来ること、また地区の他のクラブで企画しているプロジェクトの紹介等々、ロータリー財団のバックアップのもと、奉仕プロジェクトを推進しようと強いメッセージを頂きました。

2014年3月1日発
RI.D3800 国際奉仕プロジェクト検証ツアー報告

国際奉仕委員会委員長　阿部 朋博（越谷東 RC）

Thank youフィリピンに訪れると、よく聞く言葉である、語源はThinkらしく「あなたのことを良く思います」そんな思いを胸に39[サンキュー]名の志士が３月１日フィリピン首都マニラに集結した。

フィリピンは日本よりやや狭い299,404㎢の国土に約9,401 万人が住む諸島国家です。2012 年時点での実質GDP成長率は6.8％と言われ近隣の東南アジア各国と比較すると、人口密度や人口増加率が高い一方で、１人あたりの国民総所得は低いと言われています。保健分野では保健行政の主体である地方自治体の財政的基盤によって保健所等で提供されるサービスの質に差があるため、貧困層を中心として妊産婦保健サービスや母子保健サービスの普及が遅れています。教育分野では公的教育支出が政府予算に占める割合と成人識字率は高いものの、教員や教室の数の不足や貧困率の上昇を反映して、若年識字率が低いと言われています。

フィリピンの貧困層は、保健・医療面において厳しい状況におかれています。所得下位40％層の貧困世帯による医療機関へのアクセス状況を見ると、全体的に貧困層で医療機関を利用している層は少なく、医療施設の類型別では、病院よりもバランガイ・ヘルス・ステーションなどの利用が多いと言われます。

そのような、地域の貧困・衛生・識字率向上に力を貸しているのが[地域社会奉仕]現地ロータリアンです。しかし予算不足は恒常的で世界に助けを発信しタイアップ形式で地域社会奉仕を実践しています。

今回のフィリピン訪問の目的は地区内43クラブの皆様が支援した国際奉仕プロジェクトの成果確認と地区独自調査支援先への支援金授与を目的にした４日間の旅でした。重点分野別の国奉プロジェクト内容は次の通りです。※水と衛生設備：２件※母子の健康：８件※基本的教育と識字率向上：４件、この件数分布から判断しても前述の貧困層は、保健・医療面において厳しい状況におかれていることが、理解いただけると思います。

さて、そのような状況下のフィリピンの現状に２年続きで時のガバナーのご参加を見ました。渡邊ガバナーは非常に行動的に現地視察、検証をされ培った語学力を最大に生かし生の情報を収集されていました。又、検証クラブの皆様も連日の視察検証も苦にされず、精力的に動かれ我々国際奉仕部門参加の９名のメンバーは改めて素晴らしい地区のメンバーである誇りを再確認しました。特筆すべきは、入会３カ月のメンバーのご参加や、ご高齢の皆様のご参加など染まっていない眼から見たフィリピン、年輪を重ねた中での眼からみたフィリピン、夢中になっている人の眼からみたフィリピン。そんな中でのエピソードを一つ、ストリートチルドレン孤児院に訪問した際に2770地区のサンタさんの人身術には相変わらず脱帽の限りでした。どんなに希望する品々の寄付よりも、１枚のチョコレートに孤児の歓声が、やられた！！サンタの顔はしてやったり、「喜ぶ笑顔が見たい」の願望が、戌年の嗅覚で嗅ぎ分けてしまう神業にはいつもながら感心させられます。同じ戌年なのに何とか次回は盗むぞ、人身術とその心。

それぞれの立ち位置でのご参加の、瞳には「百聞は一見に如かず[Seeing is Believing]」の充実感あふれる素晴らしい39[サンキュウ]精神を持った39名での参加の４日間の検証ツアーでした。

改めてご参加の皆様に御礼申し上げますと共に地区内の会員の皆様、国際奉仕の最高の感動と笑顔をご一緒に享受するためにも奉仕の心を行動に移してみませんか？

最後に、岩手、宮城、福島県の復興支援も忘れてはならないと改めて決意をした、私達でもあります。

合掌

UNIQUEASE［ユニカセ］訪問報告

国際奉仕委員会委員長　阿部 朋博（越谷東 RC）

年輪髪と書いて「しらが」と読ませると、聞いたことがある。3月1日からのフィリピン訪問で第2の目的でもあった、地区独自調査支援先の一つに今回訪問したレストランユニカセがある。

オーナーである中村八千代氏のプロフィールです。

1969年生まれ。20歳の時、家業であった一般酒販店を継ぐ。ビジネススキルを磨きつつ、物産展などを巡り、珍しい食品の仕入れに力を入れる。30歳、児童福祉施設でボランティアをしたことがきっかけで国際協力に目覚め、2006年教育関係のNGOスタッフとしてフィリピンに派遣が決まる。深刻な貧困問題を前に、青少年の雇用機会創出の必要性を感じ、趣味を通じた“食“ビジネスで彼らの働く場を提供することを提案。12人の青少年スタッフと共に、【マクロビ風レストランUNIQUEASE(ユニカセ)】を2013年6月マカティーにオープンしました。

そんな、彼女のお店ユニカセに訪問し昼食を頂きながら、苦労話を聞いてみようというのが発案でした。しかし29名のメンバーで訪問するも中々食事が出てこない、野菜がドレッシングが皿が味噌汁が、大人数相手のサービスは余り経験が少なかったようで、参加の紳士の皆様は嫌な顔もせず黙々と飲んでやっと来た食事に舌鼓、「炙りトロ中々旨いじゃん」「五穀米かいこの米」「素人料理だねこりゃ」など色々とご指摘を頂きながら、中村八千代様の卓話を拝聴。その後の質疑応答では経営者の眼になり皆様から「理想だけでは生きられない」等などと色々と提案が。最終的には、今後も応援できるようマニラにきたら「レストランユニカセ」で食事がするよう知人にPRすることだねと相成った訳だがストリートチルドレンを引取り構成させスキルを付けさせ世に送り出す。そんな熱い思いでフィリピンで生きる彼女に敬意を表したひと時でした。

彼女からの文面を記します。

国際ロータリー2770地区ガバナー渡邊和良様

本日はご来店いただきまして、誠にありがとうございました。青少年スタッフにも温かく話しかけていただき、心から感謝申し上げます。 本日は、ご多忙の中、ご来店いただいたにも関わらず、かなり皆様をお待たせしてしまい、さらに十分なおもてなしができず、深くお詫びいたします。

今まで積み重ねてきた経験が、全く活かすことができず､あれから皆で反省をし､メニューの改善や時間を短縮するための事前準備を再確認いたしました。

心にトラウマを背負う青少年たちや、今でも貧困状態と戦い、子育てをしながら働いている青少年たちと仕事をする上で、毎日が試練の連続でもあり、私が学ばせていただいていることも多々あり、一喜一憂でございます。

彼らの真の自立をサポートしながら、諦めず一歩一歩進んで参りたいと思います。

この度、沢山のご支援金をお預かりし、改めて覚悟いたしました。くじけそうになることも多いですが、皆様方に応援いただき、悩んでいるより解決策を検討するべきだと再確認できました。

皆様に多大なるご迷惑をお掛けしましたこと、一言お詫び申し上げたく､メールさせていただきました。

大変申し訳ございませんでした。

次回、もう少し改善できるよう、スタッフ一同、努力いたしますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。ではまたお目にかかれる日がくることを心よりお祈りいたします。日本にご帰国されるまで、どうかお気を付けて・・・。

皆様にもよろしくお伝えくださいませ。取り急ぎ、お詫びとお礼まで。　　Yachi　中村八千代

彼女の前頭部に見えた白髪が「年輪髪」ということが全てを物語っていた訪問であった。

是非マニラに訪問の際は伺ってみて下さい。

店 舗 情 報

マクロビ風レストラン UNIQUEASE(ユニカセ)

住　　所：2nd Floor, No. 7850 Makati Ave. corner Gen. Luna St.Makati City, Metro Manila, Philippines.
営業時間：11:00AM～3:00PM
5:00PM～9:00PM　休日：日曜
T E L：0927-791-5516 ※英語・日本語対応可
W E B：http://www.uniquease.net/

国際ロータリー第 2770 地区 2014 － 2015 年度

会長エレクト研修セミナー

次年度地区副幹事　佐々木　修（大宮シティ RC）

2014 年 3 月 6 日～ 7 日の 2 日間に渡り濱野ガバナーエレクト年度の会長エレクト研修セミナーがさいたま新都心「ラフレさいたま」にて行われました。

濱野ガバナーエレクトは 1 月の国際協議会から 2 月 18 日地区チーム研修セミナーを開催、そして会長エレクト研修セミナーを開催いたしました。濱野ガバナーエレクトは大変多忙な中、精力的に行動して 2014 － 2015 年度ＲＩ会長ゲイリーC．K．ホァン会長のテーマ「ロータリーに輝きを」のもとに地区の活動方針「ロータリーは人づくり　そして奉仕」を掲げて各部門に方針を伝えてまいりました。

地区内ロータリークラブ会長、ガバナー補佐、地区役員の多くの皆様の参加をいただき会長エレクト研修セミナーがスタートしました。

本会議では恵川次年度地区幹事の司会により進められ、濱野ガバナーエレクトの基調講演の中で 2014 － 2015 年度方針の考えをお話いただきました。次に「ロータリーの友」からのお願いとして宮下次年度ロータリーの地区代表より説明があり 1 日目第 1 会議が終了、各部門別セッションに移りました。

第 1 ～第 9 セッションまで休憩をはさみ各 40 分ずつ、会場を 9 つに分けてそれぞれ移動しながら研修に臨んでいただきました。基本的にＲＬＩ方式を取り入れた形で、参加された皆様のご協力によりスムーズな研修になったと思います。

1 日目は第 1 セッションから第 5 セッションまで、2 日目が第 6 セッションから第 9 セッションまでと 2 日間にわたっての研修で参加された皆様には大変お疲れになられたことと存じます。また、各部門委員長そして各委員会委員長の皆様におきましても限られた時間の中で 9 セッションをこなされ的確な地区方針・委員会方針が伝わったのではないかと思います。

2 日目第 2 本会議では多くのロータリアンがそのまま会場に移動して、会場も華やかな雰囲気そして良い緊張感の中、各次年度ガバナー補佐による各グループの増強目標発表、そして参加者による感想、渡邊ガバナーによる講評があり本会議が閉幕しました。

いよいよ次年度　濱野ガバナーエレクトのご指導のもとで動き出すわけです。懇親会の席でも参加者のほとんどの皆様が帰ることなく、皆様の労をねぎらいながら楽しい懇親会となり親睦も深まったわけで。次年度ＲＩテーマ「ロータリーに輝きを」の実践を予感させる、すばらしい会長エレクト研修セミナーとなりました事、ご報告といたします。

国際ロータリー第2770地区
2013学年度　ロータリー米山記念奨学生　終了式

米山記念奨学部門委員長　　駒崎　繁夫（戸田西ＲＣ）

３月９日（日）パレスホテル大宮にて、第2770地区2013学年度ロータリー米山記念奨学生　終了式が、多数のご来賓ならびに地区役員の皆様のご臨席のもと、各世話クラブの皆様、カウンセラーの皆様にご出席頂き、盛大に挙行されました。

今年度の米山記念奨学生は31名ですが、次年度への継続生８名、休学生１名、昨年９月終了生２名を除き、20名の学生が奨学期間の終了を迎えることとなりました。

第一部の式典では、点鐘に始まり、部門委員長挨拶、渡邊ガバナーのご挨拶、森田担当諮問のご挨拶と続き、（公財）ロータリー米山記念奨学会の評議員のお立場で田村パストガバナーにもご挨拶を頂きました。

式典のクライマックスは“奨学生への終了証ならびに記念品授与”です。渡邊ガバナーから終了生20名一人一人に終了証が手渡されました（皆、晴れやかな表情です）。続けて、担当諮問の森田パストガバナーから終了生のカウンセラー全員に感謝状が授与されました。（カウンセラーの皆様には奨学生が一年間お世話になり本当に有り難うございました）。

続けて“終了生代表の謝辞”。今年度の奨学生リーダー、崔　賢喆（韓国）さん（世話クラブ：浦和北東RC）が代表して謝辞を行いました。堂々とした謝辞で、米山奨学生としての成長ぶりが感じられました。

ここで、米山学友会会長の金海峰さんのご挨拶「学友会への勧め」があり、続いて、『学友からの報告』として、学友が会員となり今年度創立された“さいたま大空RC”の初代会長李成哲　様（学友会直前会長）から祝辞と、学友がロータリアンになることができた旨の報告を頂きました。「今後ロータリアンとして精一杯活動することが、今までお世話になったロータリアンの皆さんへの恩返しだと思っています。」と述べられ、終了生にも非常に励みになる報告でした。

第二部は懇親会です。まず、奨学期間2年間の終了生が選考された当時のガバナーでもある三國パストガバナーに冒頭のご挨拶を頂き、濱野ガバナーエレクトの乾杯のご発声で和やかなムードの懇親会がスタートしました。

二部のメインプログラムは『終了生の最後の３分間スピーチ』です。米山奨学生としての一年間の思い出、世話クラブ・カウンセラーをはじめ関わったロータリアンへの感謝の気持ち・・・等々、20名の終了生がそれぞれに心を込めてスピーチを行い、なかには感極まった学生もいて、感動的な瞬間が続きました。

そのあと、終了生がお世話になりました各大学の指導教員の皆様にご挨拶を頂きましたが、米山記念奨学事業には各指定校の指導教員のご理解ご協力、ならびに地区と指導教員との連携が必要であることが改めて実感できた内容のご挨拶でした。

最後は、次年度地区幹事の恵川　様にご講評を頂き、全員で“手に手つないで”、そして、斎藤学友委員長の「閉会の挨拶」で閉会となりました。

終了生20名には、将来どこの国にいようとも、ロータリー米山記念奨学生であったことに

誇りを持ち、日本の良き理解者として、平和の使者として、それぞれの新しい進路を歩んで頂きたいと思います。

最後に、限りない可能性が広がる終了生の前途を祝すとともに、一年間お世話になりました世話クラブの皆様、カウンセラーの皆様に心より感謝を申し上げ、終了式の報告と致します。

クラブ事業報告

国際奉仕・地域社会奉仕プロジェクト「ベトナム・ビンフー幼稚園水濾過装置支援」活動報告

越谷 RC　国際奉仕委員会委員長　須賀　定吉

今回の国際社会奉仕を企画するに当たり、新地区補助金でベトナムからの米山記念奨学生のグエン・デュン・ティハイさんのふるさとに、水の濾過装置を設置することになりました。

2014年1月17日にベトナムを訪れた私たち21名は第二の都市であるホーチミンに入り、当日ダナンに向かうためダナン空港へ、早朝から私たちの娘であるグエン・デュン・ティハイさんのご両親と御兄さんが迎えに来て下さいました。

用意したバスに乗り目的地のビンフー幼稚園を目指し出発です。ベトナムの街は交差点ではバイクが3人乗り時には5人など入り乱れるように走っています。

ビンフー幼稚園までの道程は２車線から、やがて１車線になり、そして砂利道になり最後はぬかるみの道（もう道路とは言えません）になってしまいました。

廻りは牛が放し飼いで見渡す限り田んぼ、なにやら一月というのに田植えをしています。この地方では一年に４回米が取れるそうです。

こんな所にはたして幼稚園が有るのか、我々はどんどん不安になってきました。途中、通行止めがあったりして２時間近くかけてようやく目的地のビンフー幼稚園に到着しました。さほど広くない敷地に120人の子供たちが通っていて、この幼稚園には何ヶ所の小さな施設があり、全員で150名ということです。

門の中には、先生方が整列して私たちを出迎えてくれました。その奥には子供たちが緊張ぎみに小さなイスにすわり出迎えてくれました。

贈呈式

安濃副委員長の司会、グエンさんの通訳のもとまずは、我がクラブ江原武男会長が前日より勉強しましたベトナム語で挨拶をして、その御礼の言葉を役場の担当職員そして園長先生からいただきました。

この装置のおかげで今まで買っていた水が、飲み水や給食用の水として使え、いままでの費用負担も無くなり大変たすかりますとのことでした。

引き続き、担当委員長の私が濾過装置から出ました“おいしいはずの水”で声高らかに乾杯をいたしました。付け加えますと、その水を飲んでも異常は発生しませんでした。

その後、手作りの衣装で子供たちが踊りを見せてくれ、あらためて私たちは感動をし、ここまで来てほんとうに良かったという思いになりました。

記念撮影も終え、夢のような時間は、たちまち過ぎてしまい、いよいよ別れの時がきてしまいました。セレモニーの間 近所の人たちが集まっており、幼稚園の門で一生懸命手を振ってくれていたのが今でも目に焼きついています。

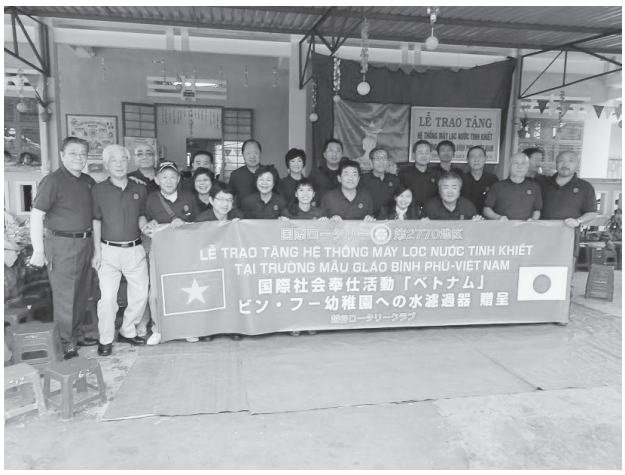
感謝

なれないベトナムの地でグエンさんのご両親に助けられ無事、終了することができました。

かわいい娘を日本に送り、心配でならなかったと思いますが、ロータリーの米山記念奨学生となりその制度を娘から聞いて安心していたこと、日本のロータリーに感謝をしているとのことです。また、幼稚園から帰り夕食を済ませホテルに帰ろうとした時、我々の日本語を聞いた少年がいきなり立ち上がり、「私は日本に留学していました。その時ロータリーの米山記念奨学生になりたいへん助かりました。」としっかりした日本語で話しかけてきたのです。

今回の事業は、ロータリー財団と米山記念奨学と二つの活動が結ばれた素晴らしい結果となりました。

あらためて、関係各位に感謝申し上げます。



地区大会に参加してきました!!

グローバル補助金奨学生（英国）　徳星　達仁（大宮シティＲＣ推薦）

こんにちは。日本では歴史的な大雪が降ったと伺っておりますが、お変わりございませんでしょうか。

ランカスターは海に近く、しかも幸運にも今年は暖冬のようで、覚悟していた「イギリスの厳しい寒さ」は経験せずにすみそうです。(少し寂しい気もしますが…)

さて、先日、ランカスターも域内である1190地区の地区大会にご招待いただき、イングランド北部のニューカッスルという街に行ってまいりました。

地区大会では10分ほどのスピーチの機会も頂き、現在までの生活やその印象についてお話しさせていただきました。

400名ほどの大人数の前でお話しするのはなかなか経験がなかったので、とても貴重な機会でした。

地区大会は3日間におよび、平和構築や環境問題など各方面の専門家の方々の講話など非常に充実したものでした。夜はバンド演奏付きのディナーパーティがありました。

こちらのロータリアンの方々も皆さんとても親切にしてくださり、日本についての話も興味深く聞いてくださいました。

ランカスターロータリークラブの皆さんも、家に食事に呼んでくださったり、地元のパブに連れて行ってくださったりと、とてもお世話になっています。

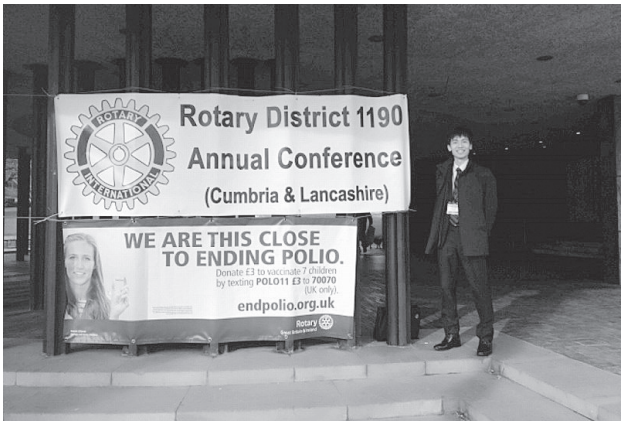
ロータリー奨学生でしか経験できない、貴重な時間を過ごすことが出来ていると実感しております。

早くもこちらに到着してまもなく半年、折り返し地点がみえてきました。

今は後期の授業と並行して修士論文の研究テーマ決めの準備を進めております。

地区大会の写真と、ランカスターRCの会長宅に昼食にご招待いただいた際の写真を添付いたします。

日本も春が近づいてくる頃かと存じますが、季節の変わり目、どうぞご自愛くださいませ。



青少年交換派遣学生の報告

スポンサークラブ：越谷南RC
派遣学生氏名：田中　未菜美
D6990　アメリカ

1）健康状態：風邪で一度学校を休みましたがそれ以外は健康に過ごせました。

2）通学・勉学状況：

生物の成績が少しずつ良くなって初めてAを取ることができました。キーボードの授業もかなり順調に進んでいます。課題曲の弾き方を友達にもたくさん教えてあげています。英語の授業も後ろに座っている男の子に助けを求めて頑張ってついて行っています。クラスメイトはほとんどが男の子なのですが、皆とてもフレンドリーなので話しかけやすいです。美術の授業ではあるプロジェクトがとても上手くいきました。それについてのプロジェクトもさせてもらいました。先生に色々手伝って頂きながらでしたが自分なりに頑張れたと思います。ラクロスは今月から練習試合がはじまり、トレーニングも毎日あります。試合には一度だけ出させてもらいました。最初はなかなかできなかったことも少しずつ上達してきてとても楽しいです。チームメイトやコーチも分からないことがあると説明してくれて皆いい人ばかりです。

3）家庭生活：

ホストママはショッピングが好きなのでよく一緒に買い物に行っています。ただ、いつも行くたびに必ず何かを買って下さるので、とても申し訳ないです。この間は妹の靴のついでに私のも買ってきてくれました。学校に行く時は家からバスストップまで距離があるので毎朝パパかママが送ってくれます。また最近はラクロスは８時に終わるので迎えに来てくれます。ホストシスターはとても面白くてまた乗馬の時はたくさんアドバイスをしてくれます。お父さんはロータリーの旅行の手続きなども手伝ってくれたりとても優しいです。今月はソチオリンピックがあったので、よく二人で録画して見ていました。おばあちゃんは料理がとても得意で、時々パンを焼いてくれるのですが、それがとても美味しいです。学校から帰ってきておじいちゃんとおばあちゃんとよくおしゃべりをしたりペットの散歩に一緒に行ったりしました。

4）ロータリーの行事参加：

今月も毎週例会に参加させてもらいました。また今月はロータリー主催の野外コンサートがありました。カントリーソングのバンドにいくつか来ていただきました。パパとママと一緒に行ったのですが、とても楽しかったです。

5）その他：

今月はなかなか乗馬にいけませんでしたが少しずつできるようになってきました。私が通ってるところには色々動物がいてとても楽しいです。

スポンサークラブ：上尾西RC
派遣学生氏名：新井　夏奈子
D1620　ベルギー

1）健康状態：月の初めは少し先月に引き続き鼻血が出ていましたが最近はもうほとんど出ていません。他に大きな体調不良も特にありませんでした。

2）通学・勉学状況：

普通学校での生活はいつもと特に変わりありません。今月留学生活の中で初めて学校で折り紙を折りました。教科担当の先生数人にあげたらとても喜んでくれました。組立ての折り紙をあげた先生は喜ぶと同時に驚いていて、反応が面白かったです。友達にも鶴をあげました。喜んでくれたので私としても凄く

嬉しかったです。フランス語学校ではテストがありました。前回(年末)に行ったテストの内容は既に覚えていませんが、今回テストの日程発表の時に先生が今回は前回より少し難しいというようなことを言っていたので少し不安です。オーラルのテストを先に行い、ライティングのテストをした際各生徒の回答用紙の最後に各々のオーラルテストの採点が付いていましたが、悪くはなかったと思います。ただ口をしっかり開けているかどうかの項目が２点中０点でした。なかなか直りません。

3）家庭生活：

今月も結局友達と出掛けることがありませんでした。月末はフランス語学校のテストのために部屋でずっと勉強していました。そのため数回ホストシスターのお誘いを断ってしまいました。来月は他の町でカーニバルがあるので今度はホストファミリーと参加できれば良いと思います。来月15日には最後のホストチェンジです。今の家には当初の予定より３カ月も長くお世話になっているので、ホストチェンジの実感が湧きません。いつも私の意志を考えてくれていたので本当に感謝です。

4）ロータリーの行事参加：

月末の例会に一度参加しました。留学生は私の他にアメリカから帰国した留学生が１人と先月ベルギーに着いたばかりの留学生が１人いました。アメリカからの帰国生が帰国報告をしていました。月の中間にローテックス主催の行事がありましたが人数に制限があり、定員オーバーで参加できませんでした。

5）その他：

私と交換で日本に行っていたウィリアムと会いました。数ヶ月前から連絡を取り合っていて今月予定が合ったので、彼の地元で待ち合わせをして会いました。しかし待ち合わせ自体が午後だったのであまり長くは居ませんでした。ウィリアムはとても日本語が上手でしたが、兎に角「やばい」や「マジで？」や「最高ね」の連発でした。問題があれば連絡して、と言ってくれました。

スポンサークラブ：春日部西RC
派遣学生氏名：太田　樹里
D1420　フィンランド

1）健康状態：元気です。

2）通学・勉学状況：

４学期に新しく取った授業の歴史では生徒に興味を引かせるようなクイズ形式の問題が学期の初めにありました。また、教科書を読んで暗記してその後に先生が提示する問題の中から選択して回答するという面白味のある授業もありました。私はその時にパソコンを貸してもらい、その時代について調べた後先生が皆に提示した問題を英訳してくれて、それに英語で答える形にしてもらいました。

音楽では小さな発表会にむけて数人のグループで一つの曲を練習しています。ギターを練習しているのですが、初心者なのでついていくのが精一杯です。また、各自で異なった題材を選びプレゼンテーションをする予定です。私は日本の伝統音楽についてプレゼンテーションをするために今原稿を作っているところです。興味を持ってもらえるようなプレゼンテーションを作れるようよく調べて纏めようと思っています。

フィンランド語の講習では新しい文法の法則を教えてもらっています。フィンランド語は文法の決まりが沢山あり、それを覚えて活用していくのが難しい言語ですが、そこが面白い面でもあります。４月の上旬には公式の言語テストが行われるのでそれに向けて話し言葉に加え、文法の勉強にも力を入れていくつもりです。

3）家庭生活：

２月15日から２月23日までがヘルシンキのスキー休みで、私はホストファミリーのスウェーデンとフィンランドの間に位置するオーランド諸島にあるコテージに連れて

行ってもらいました。電気が一切通っていないので暗くなったら少しのランプとろうそくで過ごしていました。家族でカードゲームをしたり島を探索し、外で料理を作ったりと豊かな自然の中でゆっくりと過ごせた一週間でした。

また、現在のホストマザー、ホストシスター、一番目のホストシスターと一緒に大きな客船でスウェーデンのストックホルムに行きました。実際にストックホルムを観光できたのは数時間だけでしたが、古い町並みやお店、細い路地などあり本当に素敵な都市でした。客船でのショーやパフォーマンスもとても面白く、とても楽しい旅行でした。

4）ロータリーの行事参加：

今月はスウェーデン旅行の為参加することができませんでした。

5）その他：

１月は寒かったですが、２月に入ると雪もあまり降らず暖かいと気温が３度にまでなって、すっかりあたたかく感じるようになりました。

２月14日にvanhat tanssitという伝統的な高校生の社交ダンスが行われました。美容の専門学校に通っている友達にメイクを依頼して、ホストマザーからドレスを貸してもらいました。

朝に学校の近くの体育館で一年生・学校の先生の前で通して発表し、その後vanhat yliopistotaloという小さなお城のような伝統的な素敵な建物に移動して保護者達の前で発表しました。現在のホストファミリーと以前のホストシスターが来てくれて最後には一緒に少し踊りました。

練習やパートナー探しと大変なことは沢山ありましたが、参加できて本当に良かったと思うとても素敵な行事でした。

ガバナー・ノミニー（デジグネート）指名

2016-17年度ガバナー指名委員会の決定を受けて、ガバナー・デジグネートに
浅水尚伸会員を決定したことをお知らせします。（2013-14年度ガバナー　渡邉　和良）

経　　歴　　書

氏　　名　浅水尚伸（あさみず　よしのぶ）越谷南RC
生年月日　1958年（昭和33年）12月13日
事 業 所　弁護士法人アームズ法律事務所
職業分類　弁護士

【経歴】
私立　暁星学園中学・高等学校卒業
東京外国語大学フランス語学科中退
東京大学法学部卒業
1990年（平成２年）　浅水法律事務所設立
2007年（平成19年）　埼玉弁護士会副会長
2008年（平成20年）　弁護士法人アームズ法律事務所設立
松伏町公平委員会委員・越谷市法人会執行役員

【ロータリー歴】
1999年（平成11年）５月６日　越谷南RC入会
2007～2008　幹事
2011～2012　会長
2013～2014　地区職業奉仕委員会委員
2014～2015　第８グループガバナー補佐

ＩＭ報告　第７グループ

IM開催報告

第７グループ　ガバナー補佐　　多田　和男（久喜菖蒲RC）

第７グループＩＭは、大雪の中２月25日開催を危ぶむ中での開催となり,来場者数が心配でありました。交通機関がマヒの状況にも関わらず、予想以上の出席を頂きました。各クラブ会長.・幹事様のお力添えの賜物と心より感謝申し上げる次第でございます。第七グループの構成は、幸手ＲＣ、蓮田ＲＣ、久喜菖蒲ＲＣ、栗橋ＲＣ、幸手中央ＲＣの五クラブにて構成されております。グループ内クラブにおきましては、地区方針に則り、会員の増強に始まり、財団・米山またポリオ撲滅の寄付の御願いには、会長、またメンバーの皆様にはたいへんなご尽力を頂きました。本年度のＩＭは、久喜菖蒲クラブを主管と致しまして、グループの総力を結集し、渡邊カバナーのご臨席を賜り、三部構成にて実施致しました。第一部式典、セレモニーの後、ガバナーよりお話を頂きました。また、直前ガバナー補佐・幹事に対してのお礼と次年度カバナー補佐の紹介と続き最後に、クラブ会長により、年度計画の進捗状況及び今後の予定の発表を頂きました。第２部は、記念講演会を開催致しました。ＩＭのテーマは、『子どもたちの真の復興は福島から』2011年３月11日の未曾有の大震災にて、広範囲の地域に大きな被害を受けられたわけでありますが、特に福島県浜通り地方においては、震災後、原子力発電所の事故がありました。該当地域より、県内の被害の少ない地域へ移住された住民、子どもたちが、放射能の恐怖により、屋内生活を余儀なくされ、その為、運動発達のみならず、認知能力、心の発達、子どもの成長と心の発達が阻害される事を危惧し震災後、郡山市において、子どものケアプロジェクトに取り組んでおられますＮＰＯ法人『郡山ペップ子育てネットワーク』理事長・菊池信太郎先生をお迎え致しまして現状の子どもたちのお話を頂きました。日々が過ぎ行くと共に、災害の記憶も薄れていくのが現実ではありますが、震災後３年を経て、被害地、被災者に対し再度の思いやりの心を頂ければとの思いで企画を致しました。第３部は参加者一同に介しての新年会を兼ての懇親会は、金沢前ガバナー補佐の乾杯に始まり、次年度補佐・会長幹事の紹介と盛り上がりましたが、悪天候にて、「手に手つないで」を以て閉会とさせて頂きました。また当日フィリピンの災害見舞金及び南相馬の遺児孤児育英資金に協力を頂きました。

ＩＭ報告　第８・10グループ

ロータリーをみつめなおそう

第８グループ　ガバナー補佐　小暮　進勇（越谷東RC）
第10グループ　ガバナー補佐　木幡　毅（三郷RC）

平成26年２月24日（月）越谷コミュニティセンター・小ホールに於いて初の第８グループそして第10グループ合同のＩ・Ｍ（インターシティミーティング）を開催致しました。当日は渡邊和良ガバナーそして田中作次国際ロータリー直前会長を始め多数のご来賓をお迎えし開催することが出来ました。

第１部、式典は大野祐肇第８Ｇガバナー補佐幹事と宇田川初夫第10Ｇガバナー補佐幹事の司会でスムーズな進行のもと予定通り終了することが出来ました。

式典に次ぐ第２部では、ステージ上に用意された応接セットのテーブルを囲み準備されたソファに腰をおろしリラックスした雰囲気の中、田中作次国際ロータリー直前会長と聞き役の中村靖治（吉川ＲＣ）パストガバナーによる対談形式のロータリー談義が行われました。世界のトップを務められ経験された数多くの貴重なお話を含めロータリー全般の有意義なお話を伺う事が出来ました。

また時折客席からの質問を受け答えされるなど会場一帯の進行に参加頂いた多くの方々からとても良かったと絶賛を頂きました。

続く第３部では、参加10クラブによるそれぞれがこれまでに積み重ねてこられた素晴らしい取り組み、そして成果を上げておられる事業の数々をスライドを交えたかたちで発表が行われ参加者は個々の発表に関心を寄せて聞き入っておりました。まじめな中にもユーモアがある楽しい各クラブの発表でした。

講評でも、それらの発表が渡邊和良ガバナーより好評価を頂くことが出来たことを嬉しく思います。

当日のテーマ「ロータリーをみつめなおそう」のもと田中作次国際ロータリー直前会長の貴重なお話や各クラブの発表等を参考にして頂き新たな活動のヒントにして頂きければと考えます。また、その新たな取り組みが各クラブの活性化に繋がることを期待致しております。

第３部終了後、金子健カルテットと特別ゲストにジャズシンガー阿川泰子さん迎えてジャズライブが行われました。ショウ形式でムードある音楽と阿川泰子さんの歌で長時間の勉強の疲れも癒されていたように見受けました。

小ホール終了後は会場の大きさの都合でそれぞれの会場に分かれグループごとに懇親会が行われました。国際ロータリー田中作次直前会長と中村靖治（吉川ＲＣ）パストガバナーそして渡邊和良ガバナーには二つの会場を順次回って頂くご面倒をおかけしてしまい恐縮しています。

両グループとも楽しいお酒を交わしとても盛り上がった懇親会になっていたように見受けました。

最後に、無事終わることが出来、準備、運営等に携わって頂いた実行委員会の皆様をはじめ関係者の方々に改めて感謝を申し上げ報告とさせて頂きます。

IM報告 第３グループ

IM開催報告

第３グループ　ガバナー補佐　濱野　英美（大宮シティRC）

２月26日（水）第３グループのインターシティミーティングが渡邊和良ガバナー、久世晴雅、森田武司両パストガバナー、清水勇人市長をお迎えして、清水園にて濱野英美ガバナー補佐の点鐘で１部が始まりました、ロータリーの認知度をどの様に高めるかPR方法のしかた「伝え方が９割」、人気講師で当日はNHKの取材も入る程の佐々木圭一さんにて行われました。「ロータリーの活動とは」「どの様にしたら会員増強できるか」「女性会員が入会したくなる方法」等の実践問題も取り入れながら時間超過も忘れるぐらい、また今後のクラブ運営についても多くの技術と知識を得る事が出来ました。一言一句聞き逃さないように、心が集中した時間でもありました。２部はその勢いのまま殆どの会員が残り、新しい仲間のさいたま大空RCとの懇親も深め、本当に思い出に残る有意義なインターシティミーティングになりました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

IM報告 第12グループ

ロータリーの目的を実践しよう

第12グループ　ガバナー補佐　谷口　顕（川口北RC）

３月８日（土曜日）川口総合文化センターリリアにて渡邊ガバナーはじめ、多くの来賓の皆さんをお招きし12グループの大勢のロータリアン参加にて本年度IMを開催しました。

式典では、川口市長のお祝辞と渡邊ガバナーより、新しい出会いの楽しさと意義をお話頂きました。また、現在行われているグループ内9クラブの奉仕活動の一端を映像にて紹介し所属クラブの事業にはない他クラブの様子も関心を持って参加者全員で共有し盛り上がりました。

各クラブ会長さんからそれぞれ所属クラブのアピールもあり厳粛な中に和気あいあいとした式典となりました。

２部の基調講演は大震災発生より３年を経過する中で、懸命に震災被災地を奉仕で支えておられる仙台西RCの会員さん４名が参加くださり、『東日本大震災の発生から現在・未来』の演題で、西條仙台西RC直前会長よりのご講演と『大震災へのロータリークラブの対応と今後の課題』を2520地区第７分区復興特別委員の深田パストガバナー補佐より地元のロータリアンの活動と震災当時の困難や被災地以外からの支援状況を率直にお話いただき、我々との質疑応答ではテレビやその他報道では知りえない現状や被災者の方々の心情を拝聴出来ました。

特に、津波により両親や兄弟を亡くした子供たちへの心のケアの重要性とインフラ等復旧が進む中でも被災地に戻れない原因として仕事の激減（将来への足掛かり）への対応が不十分な事などを強調されていたのが印象的でした。

講演終了後、ご登壇された仙台西RC小嶋道夫会長より、参加者に向け『大震災が風化していないことが本日IMに招かれよく分かりました。ありがたい』とのお話には参加者も心を打たれました。その後行われた懇親会でも参加者の皆さんとロータリーとしてのあり方について意見交換が各テーブルにて自然発生的に活発に行われていました。

懇親会では、次年度会長さんの紹介やアトラクションで日本酒『利き酒』大会も催され各クラブより、（通）が登場しお酒の産地や銘柄を楽しみました。参加者の皆さんは、お酒を楽しむより量を楽しむ方が多く、銘柄まで正解する方は少なかったように思います。

明日への活力を懇親会にて養い、奉仕の理念をそれぞれ持ち帰った一日となりました。

IM報告　第11グループ

IM開催報告

第11グループ　ガバナー補佐　山口　宣道（川口モーニングRC）

1、テーマ「スタンプラリー・屋台グルメ合戦」

２月９日に予定していた上記IMは記録的大雪の為中止となりました。第11グループは新年度すぐ準備をすすめ、実行委員会で議論を尽くしました。私はIMについてもっと広く市民に認知され参加できる方法がないか考えぬいたあげく、IMを拡大解釈しRI戦略計画「公共イメージと認知度の向上」のため川口市教育委員会・市PTA連合会の協力を得て、市内の小・中学校へ募集パンフレットを配布又、会場である青木公園内10ヶ所に捨て看板を設置したところウォーキングやジョギング中の多くの市民の目に触れる事となり中止とはなりましたが、十分に目的は達成したと思います。

2、テーマ「第11グループ合同例会」

２月９日のIMは中止となりましたがもう一度チャレンジすべく３月14日川口市キューポラ内「フレンディア」にて一般社団法人ロータリーの友事務所編集長二神典子様に特別講演をお願いし、渡邊和良ガバナーよりご挨拶頂きました。各クラブ会長による活動報告・井原實財団部門委員長へポリオ基金の贈呈をしました。

髙野好勝第11グループ直前ガバナー補佐への感謝状贈呈の後二神典子編集長にご講演頂きました。

ご自身の体験談を踏まえた聴衆を魅了する内容とロータリーマークについて分かり易くお話しされ、とても勉強になりました。

ロータリー財団

M・P・H・F(6)
平田　繁
(大宮)
平成26年2月28日

M・P・H・F(4)
ベネファクター
中村　僚
(さいたま中央)
平成26年3月13日

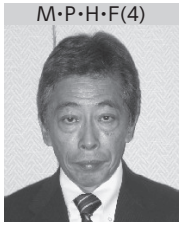
M・P・H・F(4)
ベネファクター
古野忠行
(春日部西)
平成26年3月17日

M・P・H・F(3)
木幡　毅
(三郷)
平成26年2月17日

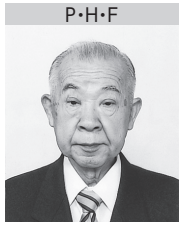
M・P・H・F(3)
河邉壽郎
(さいたま中央)
平成26年3月13日

M・P・H・F(2)
有明京子
(三郷)
平成26年2月17日

M・P・H・F(2)
井山和美
(さいたま新都心)
平成26年3月11日


M・P・H・F(4)
芝田勝孝
(さいたま中央)
平成26年3月13日

M・P・H・F(1)
鈴木俊一
(大宮)
平成26年2月28日


P・H・F
吉澤正人
(桶川イブニング)
平成26年1月31日

米山奨学会

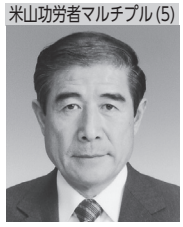
米山功労者マルチプル(11)
辻村大司
(浦和)
平成26年2月28日

米山功労者マルチプル(6)
井上正巳
(さいたま中央)
平成26年3月13日

米山功労者マルチプル(5)
南　千加江
(越谷東)
平成26年1月23日

米山功労者マルチプル(5)
川田裕一
(浦和南)
平成26年2月18日

米山功労者マルチプル(5)
井上　亮
(幸手中央)
平成26年2月24日


米山功労者マルチプル(5)
佐藤清章
(浦和)
平成26年2月28日

米山功労者マルチプル(5)
河邉壽郎
(さいたま中央)
平成26年3月13日

米山功労者マルチプル(4)
鈴木裕万
(越谷東)
平成26年1月23日

米山功労者マルチプル(4)
遊馬幸義
(蕨)
平成26年2月12日

米山功労者マルチプル(4)
佐藤志郎
(浦和南)
平成26年2月18日

米山功労者マルチプル(4)
小川逸郎
(浦和)
平成26年2月28日

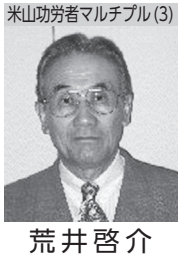
米山功労者マルチプル(3)
原　美光
(越谷東)
平成26年1月23日

米山功労者マルチプル(3)
今村行夫
(浦和北)
平成26年1月30日

米山功労者マルチプル(3)
柴田武男
(蕨)
平成26年2月12日

米山功労者マルチプル(3)
松尾康司
(蕨)
平成26年2月12日

米山功労者マルチプル(3)
金子輝雄
(浦和)
平成26年2月28日


米山功労者マルチプル(3)
荒井啓介
(さいたま中央)
平成26年3月13日

米山功労者マルチプル(2)
阿部朋博
(越谷東)
平成26年1月23日

米山功労者マルチプル(2)
大野祐肇
(越谷東)
平成26年1月23日

米山功労者マルチプル(2)
上田治男
(蕨)
平成26年2月12日

米山功労者マルチプル(2)
野口正人
(蕨)
平成26年2月12日

米山功労者(1)
塩川和彦
(浦和)
平成26年2月28日

米山功労者(1)
泉谷　聡
(浦和)
平成26年2月28日

準米山功労者

小山陽一郎
(浦和)
平成26年2月28日

準米山功労者

白井慶太
(浦和)
平成26年2月28日

準米山功労者

細淵雅邦
(浦和)
平成26年2月28日

新会員

山口大輔
(大宮北)
平成26年1月7日入会
学校法人山口総合学園 さくらアート幼稚園
教育・幼稚園

小泉徹洋
(蕨)
平成26年1月21日入会
司ゴム電材(株)
製造業　機械部品製造業

富岡栄治
(川口南)
平成26年1月22日入会
川口熱処理鉱業所
金属加工業

野城藤雄
(幸手中央)
平成26年2月1日入会
(株)野城
建設業

関根利充
(浦和ダイヤモンド)
平成26年2月5日入会
医療法人至誠堂(社団)至誠堂整形外科
医療

遠藤克俊
(大宮中央)
平成26年2月18日入会
遠藤克俊税理士事務所
税理士

木下　恵
(大宮中央)
平成26年2月18日入会
(株)JTB関東 法人営業埼玉支店
旅行社

納代信也
(川口)
平成26年2月27日入会
(株)ＪＴＢ関東
旅行業

村田裕子
(桶川イブニング)
平成26年3月1日入会
行政書士村田事務所
ビジネスサービス

熊田満子
(浦和北東)
平成26年3月4日入会
(株)ライズアップ
ソフトウェア業

羽毛　太
(八潮イブニング)
平成26年3月5日入会
(有)ボディー・リメイク
自動車板金塗装・整備業

三島　泉
(浦和中)
平成26年3月6日入会
(有)三島泉設計事務所
設計監理

安原　正
(越谷東)
平成26年3月6日入会
住友生命保険相互会社越谷支店
生命保険

池田潮美
(越谷中)
平成26年3月11日入会
(株)カトレア
人材派遣

家下隆伸
(上尾)
平成26年3月13日入会
リテラ・クレア証券(株)上尾支店
証券業

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。

小林恵子 様
(越谷東)
平成26年3月2日
享年67歳

文庫通信
(318号)

◈ 最近の資料から◈

◎「魅力的なクラブ創り」
北 清治　2013　9p　(D.2780地区大会報告書)
◎「『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに」
坂本俊雄　2014　10p　(D.2710地区大会特集号)
◎「変わりつつあるロータリー」
江崎柳節　2013　7p (D.2800地区大会記念誌)
◎「『ロータリーの目的』とＲＩ戦略計画」
南園義一　2013　8p (D.2700地区大会の記録)
◎「国際ロータリーの動向とロータリー財団」
三木 明　2013　5p　(第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
◎「過去を内省し、新しきものを統合していこうーロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」
黒田正宏　2013　51p
◎「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』」
北山輝夫　2013　2p　(D.2830地区大会記録誌)
◎「ポリオとの戦いー根絶間近のインドから」
ロケシュ・グプタ　2013　5p (D.2830地区大会記録誌)
◎「トルコの識字プロジェクト支援/ロータリーへの目覚め」
重田政信/清 章司　D.2840　2013　1p
(私のロータリーモメント)
[上記申込先：ロータリー文庫]

2013～2014年度　2月　会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2013年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標純増	通算純増	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第一グループ	浦和	112	1	112	1	0	6	3	87.72	29	30
	浦和東	81	3	78	3	−3	4	0	91.69	13	6
	浦和南	25	0	23	0	−2	3	0	92.39	11	12
	浦和中	35	2	34	2	−1	3	0	93.97	5	8
	浦和ダイヤモンド	25	7	26	7	1	5	2	92.11	12	10
	第1グループ計	278	13	273	13	−5	21	5	91.58		
第二グループ	浦和北	71	6	73	6	2	7	7	93.75	7	40
	さいたま中央	49	2	46	2	−3	3	1	89.13	21	41
	浦和西	19	2	19	2	0	7	0	67.27	73	72
	浦和北東	44	2	45	3	1	7	1	86.36	32	68
	さいたま新都心	41	0	42	0	1	2	1	90.48	17	18
	第2グループ計	224	12	225	13	1	26	10	85.40		
第三グループ	大宮	67	0	71	0	4	3	9	84.93	36	50
	大宮南	39	6	37	6	−2	5	2	83.78	42	48
	大宮中央	46	0	49	1	3	5	5	88.43	24	51
	大宮南東	9	5	8	4	−1	4	1	79.20	56	63
	大宮シティ	68	4	72	4	4	8	5	76.74	64	56
	さいたま欅	19	1	23	2	4	10	4	80.74	52	54
	さいたま大空	0	0	23	10	23	0	24	78.26	59	77
	第3グループ計	248	16	283	27	35	35	50	81.73		
第四グループ	大宮西	87	4	85	4	−2	9	5	76.69	65	60
	岩槻	29	4	30	3	1	5	2	80.00	54	75
	大宮北	22	1	24	1	2	5	2	92.98	10	20
	大宮東	36	0	34	0	−2	3	0	77.45	62	44
	岩槻東	28	1	27	1	−1	3	0	93.82	6	49
	大宮北東	15	2	15	2	0	3	0	71.11	71	69
	岩槻中央	13	0	13	0	0	3	0	68.18	72	73
	第4グループ計	230	12	228	11	−2	31	9	80.03		
第五グループ	上尾	35	1	35	1	0	3	0	89.29	20	5
	鴻巣	24	1	22	1	−2	3	0	93.65	8	11
	桶川	16	0	17	0	1	3	1	78.71	57	67
	上尾西	39	0	45	0	6	6	7	87.89	26	9
	北本	9	0	9	0	0	3	0	83.35	43	13
	上尾北	25	0	25	0	0	3	0	89.58	19	3
	鴻巣水曜	30	4	32	5	2	5	2	85.42	35	25
	桶川イブニング	18	0	18	0	0	2	0	77.77	61	16
	第5グループ計	196	6	203	7	7	28	10	85.71		
第六グループ	春日部	41	0	39	0	−2	10	1	79.85	55	37
	杉戸	23	0	22	0	−1	3	0	84.84	37	27
	春日部西	30	1	31	1	1	5	2	87.78	27	28
	庄和	20	1	22	1	2	3	2	83.00	48	31
	春日部南	31	3	26	1	−5	5	0	91.35	15	15
	春日部イブニング	21	1	25	1	4	3	4	100.00	1	2
	杉戸中央	20	0	21	0	1	3	1	80.70	53	53
	第6グループ計	186	6	186	4	0	32	10	86.79		

グループ	クラブ名	2013年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	増減	目標純増	通算純増	当月 出席率	当月 順位	通算出席率順位
第七グループ	幸手	43	1	42	1	−1	5	1	91.60	14	14
	蓮田	32	0	42	1	10	5	11	88.09	25	33
	久喜菖蒲	58	4	54	4	−4	6	1	81.70	50	55
	栗橋	9	0	10	0	1	2	1	83.27	46	59
	幸手中央	23	0	25	0	2	3	3	78.67	58	64
	第7グループ計	165	5	173	6	8	21	17	84.67		
第八グループ	越谷	82	4	85	5	3	6	4	96.00	3	24
	越谷南	52	4	52	5	0	5	5	83.10	47	32
	越谷北	53	1	53	1	0	5	1	86.00	34	46
	越谷東	49	7	50	7	1	5	1	83.89	41	45
	越谷中	16	0	19	2	3	5	3	100.00	1	61
	第8グループ計	252	16	259	20	7	26	14	89.80		
第九グループ	八潮	47	3	46	3	−1	5	1	82.61	49	21
	草加南	11	1	11	1	0	3	0	77.27	63	52
	八潮イブニング	27	2	29	2	2	3	2	83.93	39	43
	草加中央	20	0	20	0	0	3	1	90.78	16	23
	八潮みらい	25	0	27	0	2	3	2	86.12	33	29
	草加松原	33	2	34	2	1	5	1	64.95	77	70
	第9グループ計	163	8	167	8	4	22	7	80.94		
第十グループ	吉川	32	2	31	2	−1	5	0	75.82	67	62
	三郷	31	2	35	3	4	3	5	87.74	28	36
	三郷中央	17	0	18	0	1	5	1	83.33	44	47
	三郷ウェンズデー	23	2	26	4	3	5	3	87.18	31	58
	松伏	14	4	14	4	0	3	0	90.47	18	7
	第10グループ計	117	10	124	13	7	21	9	84.91		
第十一グループ	川口	83	11	82	12	−1	5	3	66.02	76	71
	鳩ヶ谷	23	0	23	0	0	3	0	93.33	9	17
	川口東	20	0	20	0	0	5	1	78.22	60	26
	川口・鳩ヶ谷武南	26	2	26	2	0	2	0	71.36	70	39
	川口モーニング	26	1	29	1	3	5	3	83.91	40	4
	川口南	31	4	32	4	1	3	3	74.18	68	74
	川口シティ鳩ヶ谷	17	0	18	0	1	5	1	81.15	51	22
	埼玉ゆず	20	20	17	17	−3	0	2	66.66	75	76
	第11グループ計	246	38	247	36	1	28	13	76.85		
第十二グループ	戸田	52	6	51	6	−1	1	1	88.81	22	38
	蕨	23	1	27	2	4	1	4	88.53	23	34
	川口西	26	4	27	4	1	1	3	83.33	44	65
	戸田西	30	1	27	1	−3	3	0	95.83	4	1
	川口北	27	1	24	0	−3	5	0	83.95	38	35
	川口北東	19	2	22	2	3	5	4	66.67	74	42
	川口中央	13	2	13	2	0	2	0	87.50	30	19
	川口むさし野	17	1	18	2	1	3	1	73.06	69	66
	戸田イブニング	18	0	19	0	1	2	2	76.38	66	57
	第12グループ計	225	18	228	19	3	23	15	82.67		
	地区合計	2530	160	2596	177	66	314	169	83.79		